

第3学年 社会科 学習指導案

1 単元名 わたしたちの生活と経済

2 単元の目標

- ・シミュレーションや討論などの学習活動に積極的に取り組み、消費者・労働者としてのあり方について意欲的に考えようとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・経済活動における家計や企業の役割としくみ、社会生活における職業の役割や意義等について多面的・多角的に考え、公正に判断することができる。
(社会的な思考・判断)
- ・経済活動に関する様々な資料を収集・選択・活用しながら、課題について考えた過程や結果を、わかりやすく説明することができる。
(資料活用の技能・表現)
- ・市場経済の基本的な考え方、生産のしくみや金融のはたらきについて、正しく理解し、まとめることができる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 教材観

長引く不景気、年金問題、リストラ、派遣切り、自殺者の増加等々、現代は、若者が将来に対して希望を持ちにくい時代であると言われる。多重債務、自己破産、振り込め詐欺、架空請求といったトラブルに巻き込まれる危険性も高まっている。また、インターネットの急速な普及によって、生活は便利にはなったものの、あふれる情報の中から、何が正しいのかを自分自身で選択し判断することがますます難しくなっている。

このような状況の中を生きていく中学生にとって、本単元は世の中のしくみを知るために極めて大切な部分であると考えられる。「企業とは何なのか」「お金の流れはどうなっているのか」「価格はどうやって決まるのか」「商品はどのようにして私たちの手に届くのか」など最も基本的な経済のしくみについて学び、正しい知識を身につけさせたい。その上で、現在の日本が抱える様々な問題に気づかせたい。そして、「賢い消費者・賢い労働者になるために必要なことは何か」「どうしたら自立した生活者になることができるのか」を自分自身のこととしてじっくりと考えさせる好材料であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級の生徒の特徴としては、次のようなことが挙げられる。話し合い活動が好きでグループ学習には楽しく取り組む。3セット発言が自然に身につけている生徒もいるが、約半数はまだ定着していない。歴史には興味があるが、公民に入ってからあまりおもしろくないと感じている生徒が多い。また、9月はじめにとったアンケートによると、新聞を毎日(あるいは時々)読んでいる生徒は約3分の2いるが、その多くはスポーツ欄やテレビ欄である。

経済の学習は、生徒たちにとって興味の湧きにくい分野であろうと考えられる。しかし、社会で自立していくためには、絶対を知っておかなければならない大切な分野である。また、扱う題材は政治分野より身近なものが多い。これまで、2年生での職場体験をはじめ、総合・学活の時間で進路学習を進めてきたが、自分自身の将来に対してしっかりとした考えを持っている生徒は少なく、目先の高校進学のことしか考えていない。この単元での学習を通して、自分の生き方について、より具体的に考えられるようになることを期待している。

(3) 指導観

この単元ではまず、基本的な経済のしくみや語句、そして現在の日本経済の現状や問題点について、しっかりと理解させたい(習得)。その上で、消費者として、労働者として、何を基準にどう判断し選択すべきかを考えさせたい(活用)。そのために、できるだけリアルな設定の下で具体的な事例を用いることが大切であると考えられる。また、多面的・多角的に考察させるために、生産者・雇用者といった両方の立場から物事をとらえさせたい。

4 学習計画（総時数12時間）

次	小単元名	学習課題とまとめ	評価
第一次 ②	消費と貯蓄	<p>< ライフプランをたててみよう PART1 ></p> <p>人の一生には、様々な岐路があり、どの道を選択するかによって、収支は大きく変わってくる。</p> <hr/> <p>< 親から経済的に自立して、一人暮らしをするためには、月いくら必要? ></p> <p>限られた収入を有効に活用するためには、消費支出のふりわけを決めるだけでなく、将来を見据え、預金や保険料の支払いといった貯蓄とのバランスを考えることが大切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループ学習に意欲的に参加し、経済学習への興味・関心を高めている。 関心・意欲・態度 (観察・振り返りカード) 家計における所得と消費と貯蓄の関係を理解している。知識・理解 (ワークシート)
第二次 ②	働く人たちの生活向上	<p>< あなたは、どう働きたい? ></p> <p>自立するためには働くことが不可欠である。労働には、収入を得るといった目的のほかに、自己実現・社会参加といった意義もある。自分の希望をかなえるのは簡単なことではないが、正規雇用・非正規雇用の長所・短所をよく理解した上で、どう働きたいか、自分自身の考えをしっかりと持つことが何より大切である。</p> <p>< 労働者は、どう守られているのだろうか? ></p> <p>労働三法、労働三権等により、労働者の権利はある程度保障されており、労働条件改善のために努力している企業もある。しかし労働災害・過労死・失業といった今後改善していかなければならない労働問題も多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題に関する資料を適切に選択・活用し、働くことの意味を自分の将来と関連づけて様々な角度から考えることができる。思考・判断 (ワークシート・発言) <p style="text-align: center;">活用力</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働三法の主な内容を理解するとともに、労働における諸問題を、労働者・使用者の両面からとらえ、公正に判断している。知識・理解 (ワークシート)
第三次 ②	金融のはたらき	<p>< お金はどこへ行くのだろうか? ></p> <p>世の中では、銀行や保険会社といった金融機関を仲立ちにお金が回っており、家計の貯蓄は企業の生産活動を支えている。また、国の中央銀行として特別な役割を担っているのが日本銀行である。</p> <hr/> <p>< 現金とカード、どちらが安全? ></p> <p>カードの種類は多様であり、上手に使えばとても便利である。しかし反面、危険な面も多く、使用前に正しい知識が必要である。また、お金を借りると利子が発生し、その比率には大きな開きがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関が家庭生活や企業活動の中で仲立ちをしていることを理解し、その知識を身につけている。知識・理解 (ワークシート) 様々なカードやローンのしくみを知り、多重債務者にならないための知識を身につけている。知識・理解 (ワークシート)

第四次 ①	流通のしくみ	<p>< より安く、安全でよい商品を購入するための工夫とは? ></p> <div data-bbox="427 248 1066 421" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生産者から消費者へと商品がわたるまでの道筋を流通といい、様々な業種がその中に含まれている。流通の合理化を図るために、小売店はいろいろな工夫を行っている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 生産と消費の仲立ちとしての流通の大まかなしくみや経路について理解し、その知識を身につけている。知識・理解 (ワークシート)
第五次 ①	生産のしくみ	<p>< 企業って何だろう? ></p> <div data-bbox="427 517 1066 725" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>資本主義社会では、企業が利潤を目的に、競争しながら生産活動を行う。その代表的なものが株式会社である。しかし、企業には文化・教育・環境保全など、人々の暮らしを向上させるための社会的責任もある。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済の大まかな特徴と株式会社のしくみを理解し、その知識を身につけている。知識・理解 (ワークシート)
第六次 ②	市場経済のしくみと価格	<p>< ものの値段はどうやって決まるのだろうか? ></p> <div data-bbox="427 815 1066 943" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>需要が供給を上回ると価格は上がり、需要が供給を下回ると価格は下がる。このようにして決まる価格を市場価格という。</p> </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>< 競争はなぜ必要なのだろうか? ></p> <div data-bbox="427 1039 1066 1240" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生産の集中が進むと、市場での自由競争が行われなくなる。競争が弱まると、価格は上昇し消費者は不利益をこうむることになる。それを防止するために独占禁止法があり、公正取引委員会がその運用にあたっている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 写真やグラフ等から需要と供給の関係について読み取り、説明することができる。技能・表現 (発言・ワークシート) 独占価格の影響や公共料金が設けられている理由を多面的・多角的に考察している。思考・判断 (ワークシート・発言)
第七次 ①	消費者の権利と保護	<p>< 賢い消費者とは? ></p> <div data-bbox="427 1323 1066 1653" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>悪質商法や詐欺などから消費者を守るためにクーリングオフ制度・製造物責任法や消費者契約法などがある。情報があふれる現代社会においては、消費者は、自分の意思と判断によって「もの」や「サービス」を購入することが大事であり、これを消費者主権という。消費者主権を維持するためには、消費者・企業・国それぞれの立場からの努力が必要である。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 消費者保護の仕組みを知り、賢い消費者になるための条件について考え、発表することができる。技能・表現 (ワークシート)
第八次 ①	単元のまとめ	<p>< 自分のライフプランをたててみよう PART2 ></p> <div data-bbox="427 1765 1066 1966" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目先のことだけにとらわれず、長いサイクルでの見通しを持って、自分の生き方を考えていく必要がある。また、判断力を養い、自分自身で選択できるように正しい知識を身につけ、常に世の中の動きに注意を払うことが大切である。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> これまで学習したことを活かし、将来を見据えた選択をし、自分自身のライフプランを立てることができる。思考・判断 (ワークシート・振り返りカード) <div data-bbox="1225 1966 1390 2047" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 100px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 10px auto;"> <p>活用力</p> </div>

5 本時の学習（第二次の1/2）

(1) 小単元名 働く人たちの生活向上

(2) 本時のねらい

- ・雇用形態の違いによる長所・短所を資料から読み取り、働くことの意味を自分の将来と関連づけて様々な角度から考えることができる。(社会的な思考・判断)

(3) つけたい活用力

- ・課題を解決するために適切な資料を選択し、追究する力（思考力）
- ・友達の様々な意見を聴き、自分の考えを整理して伝える力（表現力）

(4) 学びを深めるために

前時において、架空のライフプランをたて、人生においてどのような選択の場面があり、どんなことに気をつけなければならないかについて考えた。本時では、その中の重要なポイントである「収入」を得るために、どのような働き方をするのがよいかについて考えさせたい。終身雇用型のタイプとして公務員、成果主義型のタイプとして会社員、非正規雇用のタイプとして派遣社員の例をあげ、比較する。どの働き方がよいかを各自で選ばせた後、班ごとに分担して、それぞれの特徴をまとめて発表させる。全体での話し合いの中で、新しい気づきが生まれ、働くことに対する各自の考えが深まってくれることを期待したい。また、補助発問によって、収入を得るということ以外の働く意義について考えさせたい。

(5) 準備 ワークシート 配布用資料

(6) 学習の展開

配時	学 習 活 動	支援（・）評価（◆）
導入 5	1 前時のまとめをいくつか紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で考えた「人生の選択」について思い出させ、本時につなげる。
展開 3 5	2 課題設定 課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 60%;"> あなたは、どう働きたい？ </div> 3 個人思考 Aさん・Bさん・Cさんのセリフを読み、どの形で働きたいか、自分の考えをワークシートにまとめる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>Aさん： くびになる心配がなく、安心して仕事ができるから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>Bさん： 年齢に関係なく、実力さえあれば、給料が上がるから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>Cさん： 色々な仕事を体験できるから。自分に合う仕事を探せるから。</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">書く活動</p>	
	4 A～Cのどれかにネームプレートを貼り、自分の考えを示す。	<ul style="list-style-type: none"> ・A・Bは正規雇用（Aは終身雇用・年功序列型、Bは成果主義型）、Cは非正規雇用のモデルとして考えさせる。 ・思考を焦点化するために、22歳、独身で一人暮らしをしているという共通の設定を与える。 ・自分の考えをワークシートにまとめる時間を保障する。 ・3セット発言を意識させて、何人かに発表させる。 ・話し合いの中で、A・Bは正規雇用、Cは非正規雇用であることを押さえる。
	5 集団思考 正規雇用・非正規雇用それぞれの働き方のメリット・デメリットについて資料をもとに出し合い、班ごとにまとめる。	

6 各班でまとめたことを発表する。

正規雇用：残業や休日出勤があったりして、労働時間が長い分、収入が多いが、過労死と言った問題もある。給料には男女差がまだ大きい。

非正規雇用：時間にゆとりがあり、特に結婚している女性にとっては家庭と両立しやすい働き方である。いろいろな人との出会いもあり、自分に合っていなければかわればよい。でも、ボーナスがなく、収入も不安定。食べていくためには、仕事をかけ持ちしなければならないので、自由な時間ができるとは限らない。また、必ずしも仕事があるとは限らず、不安がある。

なぜ、Dさんはこんなに生き生きしているのだろう？

誰かの役に立っているという充実感が、Dさんの生きがいになっているんだな。

働くことの目的は収入を得ることだけではないのだな。

・結論だけの発表にならないよう、根拠となる資料と理由をつけて説明するよう助言する。

・グラフを提示して、非正規雇用の労働者が増えている近年の傾向を読み取らせ、それがなぜなのか、雇う側の立場からも考えさせる。

・介護の現場で働くDさんの体験談を紹介し、収入以外の働く意義について気づかせる。

まとめ
10

7 **まとめ** 課題に対するまとめを書き、発表する。

自立して生活するための収入を得る手段として働くことは、もちろん大切だが、自分の能力を生かしたり、人の役に立つことによって生きがいを感じたり、社会に参加することもまた、働くことの目的である。働き方には、正規雇用・非正規雇用があり、それぞれに長所・短所がある。自分の希望をかなえるのは簡単なことではないが、どう働きたいか、自分自身の考えをしっかりと持つことが何より大切である。

◆働くことに関する自分の考えを深め、まとめることができる。(思考・判断)
<ワークシート>

友達のまとめを紹介し、考えを深めさせる。

(C→B)

8 振り返りカードに記入し、次時の学習内容を知る。